

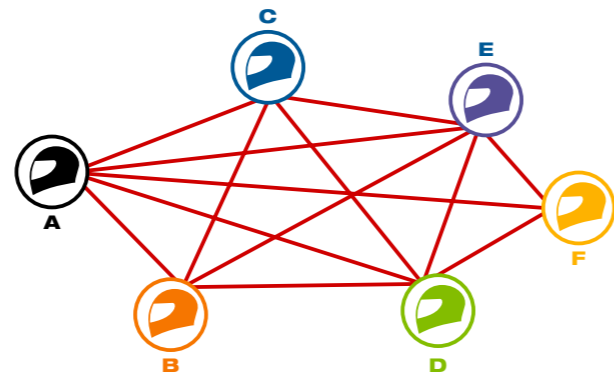


30K +MESH
メッシュ2.0にバージョンアップできるモデル

メッシュを採用している30Kや+Meshは、メッシュ技術の世代が違うため、メッシュ2.0ネットワークには参加できない。しかし、ファームウェアのアップデートを行うことで、50S/Rと通話することが可能になる

そもそもメッシュとは

グループが一本の「鎖」のように接続するBluetoothウースに対して、文字通り「網の目」のようなネットワークを作るメッシュ。経路が複数あるため接続が切れにくく、ペアリングのような操作も不要なのがメリット



MESH2.0になり安定感アップだから「つながりやすく、切れにくい」

次世代モデル50シリーズで見る セナ通信革命 MESH2.0

新世代フラッグシップモデル「50S」「50R」は、すべての点において従来モデルから進化している
とりわけ一番の進化は、第二世代のグループ通話システム「メッシュ2.0」の採用だ
通話距離や人数などが進化し尽くした中で、使い勝手や音質といった感性の進化を実感できるだろう

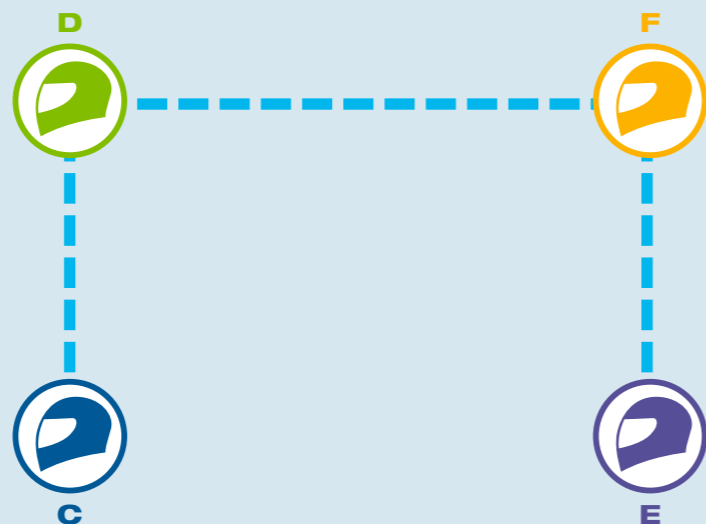
写真/増川浩一 文/八百山ゆーすけ 問:セナBluetoothウースジャパン <https://senablutooth.jp>

MESH2.0は2つのモードを用意



スピーカーやマイクも進化

メッシュ2.0テクノロジーを搭載した50S/Rは、単にインターコムの通信環境が向上しただけではない。完全新設計のHDスピーカーを採用し、音楽などの音声ソースも含めた音質が向上。さらにマイクのノイズ処理技術も進化しており、まるで静かな部屋でお互いが通話しているような明瞭なインターコム通話ができる



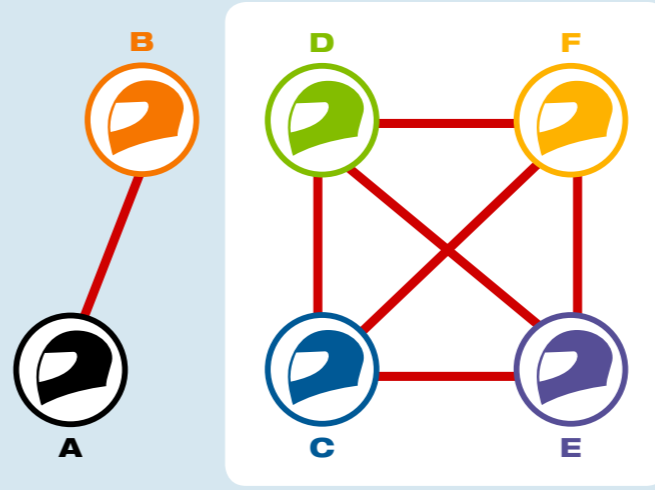
Bluetooth

50S/R、30Kを除くセナ・インターコムが採用するBluetoothウースを使った通信技術。バイク用インターコムのほとんどが採用しており、ユニバーサルインターコム機能を使うことで、セナ製品以外のインターコムとも接続することができる。もちろん50S/R、30Kもしっかり搭載している。また、セナのBluetoothウース・インターコムも、アダプター「+Mesh」を利用することで、セナのMesh2.0ネットワークに参加できる

通話人数：最大4人
通話距離：2.0km 他社製品とも接続可



Bluetooth Intercom



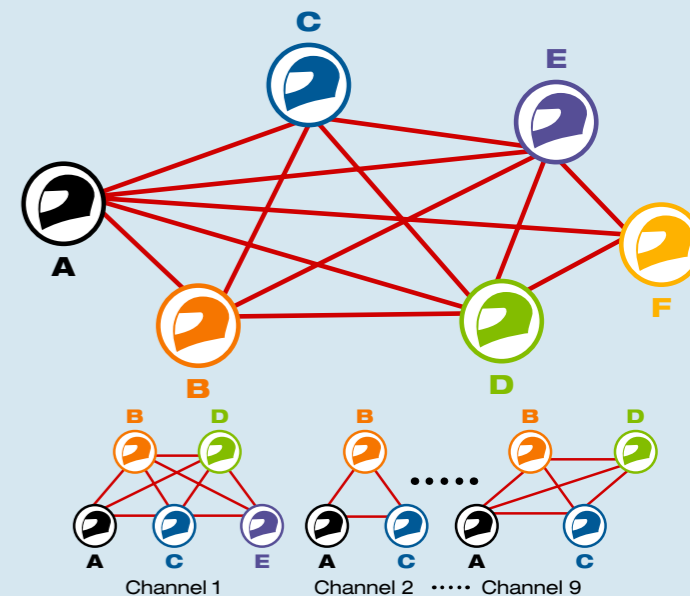
Group Mesh

通話人数：最大24人
通信距離：お互い2kmの通信距離で通話可能、人数が増えるほど安定性が高まり通信速度も伸び6人以上集まれば最長8kmとなる ※グループ作成が必要



グループメッシュ

特定の仲間と独自のグループを作成し、その仲間だけで通話するためのモード。1つのグループは最大24人が参加することが可能で、オープンメッシュのチャンネルとは違い、指定したメンバー以外が参加することはできない。グループはスマホアプリ「Sena 50 Utility」で作成・管理することが可能だ



通話人数：無制限
通信距離：お互い2kmの通信距離で通話可能、人数が増えるほど安定性が高まり通信速度も伸び6人以上集まれば最長8kmとなる ※9チャンネル



オープンメッシュ

メッシュ2.0の標準となるモードで、周囲と同じオープンメッシュモードを起動しているセナ・インターコムと接続。同時に接続できる人数に制限はない。メッシュ2.0では新たに9つのチャンネルを用意。同じチャンネルを選択したインターコムとだけつながる。簡単にグループ通話をしたい人に合う

8月8日発売



50R

シングルバック 4万5540円
デュアルバック 8万6680円

50Sの機能・性能はそのままに、スリムなデザインとシンプルな3ボタンレイアウトを採用したモデル。3ボタンのSFシリーズからステップアップしたい人に最適だ

ボタン一押しで誰とでも人数無制限でつながるといふ、メッシュの手軽さはそのままに、新たに「チャンネル」を導入。9つのチャンネルが用意され、同じチャンネルに合わせた人と通話ができるというもので、トランシーバーの通話チャンネルを合わせるのと同じように、すぐにグループ通話が始められる。一方グループメッシュは同時通話人数が24人に増え、さらに誰でもグループを作って参加できるようなるなど、ユーザー本位の使い勝手になっている。

さらにメッシュ2.0は通信距離や音質の面でも格段の進化を遂げている。メッシュ・インターコムの通信距離は1対1で最大約2km、6人以上なら最大約8kmというスペックは変わらないものの、実際に通話できる距離は伸び、さらに周囲のノイズはほとんど聞こえないくらいクリアな音質は、実際に使ってみると誰しもが実感できることだろう。

8月8日発売



50S

シングルバック 4万6640円
デュアルバック 8万7780円

Mesh2.0を標準搭載したセナ・インターコムの旗艦。日本語に対応したボイスコマンド機能や新設計のHDスピーカーを採用するなど、すべてを刷新した新世代モデルだ

スペックの進化だけでなく
距離や音質の進化も実感

セナの新世代フラッグシップモデル「50S」と「50R」は、従来モデルに対してあらゆる面が刷新されている。もともと大きい進化が「メッシュ2.0」と名付けられた、「第2世代」とも言うべきメッシュ・インターコム機能だ。

2018年に発売となった「30K」は、「セナ・メッシュ・インターコム」技術を搭載し、従来のBluetoothウース・インターコムにはない、新しいグループ通話のスタイルを実現。メッシュ2.0はこのメッシュ・テクノロジーを進化させると同時に、もともと扱いやすくなる方向にも貢献している。

セナ・メッシュ・インターコムには、「公開モード」と「プライベートモード」という2つのモードがあったが、メッシュ2.0ではこれを「オープンメッシュ」と「グループメッシュ」に刷新。

オープンメッシュは、メッシュ